

# 日野市観光協会だより

第29号 (平成30年3月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会  
<http://www.shinsenhino.com/>



## 川澄祐勝前理事長のご逝去

平成 29年10月10日に観光協会の前理事長であられる高幡山金剛寺第三十三世貫主大僧正川澄祐勝和上が87歳をもってご逝去されました。

すでに密葬（10月17日 通夜、18日 告別式）が行われております。このほど、本葬儀が平成30年3月16日（金）に別格本山高幡不動尊金剛寺大日堂で執り行われました。

当日は真言宗長者・真言宗智山派管長・総本山智積院けしほ化主第七十一世大僧正小峰一允こみねいちろういんげいか下大導師のもと、厳粛に執り行われ、2,000人を超える方が参列されました。

川澄祐勝様におかれましては、平成17年6月に観光協会第7代理事長に就任され、当協会の事業拡大として平成17年度に市から日野宿本陣の管理運営を受託すると共に増加する事務対応のため、

観光協会事務局を日野宿本陣内に移転。平成18年度には東京都から特定非営利活動法人日野市観光協会の認可を受けるなど、今の観光協会の基盤となる改革に多大なるご尽力を賜りました。

また、日野市まちおこし連絡協議会の会長として日野の三拠点のまつり（ひの新選組まつり、ひのよさこい祭、たかはたもみじ灯路）を軸に各地区のまちおこしと観光事業の発展にも尽くされました。

近年では、高幡山を1年を通して楽しんでほしいとの思いから東京日野ロータリークラブ発案の曼珠沙華の植栽にも力を入れられ、すでに十万本以上が植えられており、新たな観光資源として期待される所です。

ここに、心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、当協会への長年にわたる多大なるご貢献に対し、深く御礼申し上げます。



# 第12回 たかはたもみじ灯路

平成29年11月22日(水)  
23日(ホ)

第12回たかはたもみじ灯路が行われました。今回新たに日野市商工会、東京日野ロータリークラブ、東京日野プロバスケットボールクラブなどに一つの部門を担当頂くこととなり、スタッフも増え、新しい体制で実施することができました。

残念ながら1日目が雨天となり出足が伸びませんでしたでしたが、翌日は天気も回復し寒さも和らいだ中、多くのお客様に楽しんで頂きました。ご協力頂きました実行委員、協力団体の皆様に感謝申し上げます。

(まつり推進部)

撮影：池田清隆さん



## 高幡不動尊節分会

2月3日(土)



高幡不動尊節分会が晴天の中開催されました。これに先立ち、1月30日(火)に信徒会館で会員26名の方々に協力頂き福袋の袋詰めを行いました。

今年は節分会が土曜日にあたり、福袋を800個から850個に増やしましたが3時半には完売しました。

5回行われる豆まきは、延べ4万人の参拝者で賑わい、相田翔子、つのだ☆ひろ、寺泉憲、藤原浩、照英、土屋巴瑞季、ハローキティ、岩崎愛子さんなどが「福は内」の大きな掛け声に併せ豆まきを行いました。袋詰め、豆煎り式、販売にご協力を頂いた会員の皆様に感謝申し上げます。

(事業部)

## 姉妹都市岩手県紫波町視察

2月20日(火)  
21日(水)

童謡「たきび」<sup>たつみせいか</sup>作詞者巽聖歌の縁で平成29年1月に姉妹都市締結をした岩手県紫波町(人口約3万3千人)に、日野市観光協会、日野市商工会、市職員総勢16名で視察をしました。

特に「オガールプロジェクト」は、3棟に分かれ、図書館、物産、カフェ、子育て、ホテル、病院、居酒屋等の官民複合施設となっており、感銘を受けました。全国的にも珍しく、平成29年は視察者1900人(全国1位)が訪れました。「オガール」とはフランス語の「駅」(ガール)と紫波の方言で「成長」を意味する「おがる」を合わせたもので、持



続的な成長の願いが込められています。

1日目は新酒まつりと懇親会が一緒に行われ紫波町長の「酒は人付き合いの潤滑油」をモットーに大いに盛り上がりました。最後には、「たきび」を参加者全員で合唱しました。



# 第51回 伸びゆく日野市写真コンクール

第51回伸びゆく日野市写真コンクールが行われ、68名300点の作品の中から、29点が入賞しました。今回は子供達がいろいろな場面に登場して、活躍している作品が多いのが特徴的でした。しかし、残念なことで、当初推薦に選ばれた作品に応募規定違反が発覚。このため、今回は推薦が該当無しとなり、入賞は28点となりました。写真コンクールは日野市の姿を記録して行く有意義なものです。これからもカメラマンの現場での知恵と工夫を意識した作品を期待しています。入賞作品は日野市観光協会HPからご覧いただけます。(事業部)



特選 (日野市議会議長賞)  
「満開、新井の花菖蒲田」 設楽誠一



特選 (日野市観光協会理事長賞)  
「秋の公園で」 原田恵一 (敬称略)

その他入賞作品は、こちらからご覧いただけます。

## 日帰り研修 3月2日(金)

参加者20名で7時50分に出発。関越トンネルを抜けた途端、川端康成の「雪国」の世界に「ウォー」と歓声が上がりました。昼食の地元魚沼産“こしひかり”を使った店「こめ太郎」は別格の味でした。関越トンネルを戻り「道の駅みなかみ水紀行館」で観光事業の説明を受けました。台湾等でも観光PRを行っており、近年では訪日外国人の雪遊びツアーが増えているとの事でした。施設の視察後、近くの「鈴森の湯」で休憩。途中、渋川市の「永井食堂」で定評のもつ煮込みで小腹を満たし帰路につきました。もう一度行きたくなる研修でした。(研修部)



## 日野市にトップチーム誕生 おめでとう



誰もが良く知る日野自動車“レッドドルフィンズ”(以下RD)は、日野自動車ラグビー部の愛称です。そのRDは近年補強を続け、ラグビーのトップリーグ(サッカーのJ1に相当するリーグ)入りを目標に、日々弛まぬ努力を続けていました。1月20日ついにその努力が報われる日が来ます。トップリーグ15位のNTTドコモとの入替え戦、見事20対17で勝利、来シーズンのトップリーグ入りを決めました。日本ラグビーのトップチームが日野市に誕生した瞬間です。今年9月から始まる迫力満点のトップリーグ、日野市のRDを応援するのも楽しいかもしれませんよ!頑張れレッドドルフィンズ!(広報部)



## 日野市版さくらの開花宣言（標本木を設定）

さくらの開花ってご存知ですか。さくらの開花宣言は気象庁が2009年春を最後に宣言をやめ、現在では日本気象協会が靖国神社のソメイヨシノを標本木として発表しています。標本木の花が5～6輪咲いた状態を開花、80%のつぼみが開いた日を満開としています。

日野でもさくらを楽しめる場所が沢山あります。

そこで、日野のさくらを多くの人に楽しんでもらえるよう3月より高幡不動尊のご協力を賜り、日野市観光協会が独自に標本木（高幡不動尊事務所前のソメイヨシノ）を定め開花状況をHPでお知らせしています。



### 日野のなにそれ こうりょうげん 『鮫陵源』

昭和初期、平山城址公園駅の近くの「滝合橋」のたもとに、今でいう巨大『テーマパーク』があったのをご存じですか？

その名前は『鮫陵源』。名前の由来は、施設の創設者である鮫島亀之助の『鮫』、『陵』は、多摩御陵にちなんで、そこに水のみなもとの『源』をつけて『鮫陵源』と名付けられたということです。

施設の正面入口では、西洋風の三角屋根がお出迎え。園内には、水族館に屋外プール、お子様用のブランコ、シーソー、高低差を利用したジャンボ滑り台があり、当時としては大変モダンな施設でした。園内の池でさまざまな魚を養殖し、「日本館」で振る舞われていました。

また、市内外の小学校の遠足先としても賑わっていたようです。

**日野市観光協会の歩み** 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

## これからの行事予定

5月12日(土)・13日(日)

第21回ひの新選組まつり

6月4日(月)

日野市観光協会定期総会

6月1日(金)～7月7日(土)

高幡不動尊あじさいまつり

7月29日(日)

第18回ひのよさこい祭

## お知らせ

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員2,500円 一般5,000円)

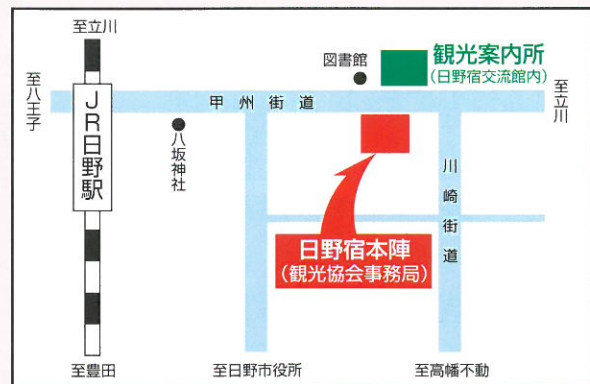
特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM (月曜定休)

〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9

TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961

E-mail info@shinsenhino.com



### 会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

### 編集後記

上記「日野のなにそれ」で紹介されている「鮫陵源(こうりょうげん)」。今は閑静な住宅街に以前このような施設があることは初めて知りました。京王沿線は昔から観光・史跡の路線でもあったんですね。さて、昨年夏、まさにこの「鮫陵源」のあった西平山地区の、浅川沿いのサイクリングロード、民家など使って「寝ても覚めても」という全国ロードショーの映画のロケが行われました。主演は東出昌大さん。今年晩夏の公開です。日野市の風景がどのように使われているか、どうぞお楽しみに。…というわけで、平山の今・昔でした。(S)